

18 形成外科

Microsurgery による再建外科のメッカへようこそ！

東病院 形成外科スタッフ構成 (2019 年度)

- 常勤医師 3 名
- がん専門修練医 2 名
- 短期レジデント (1 年) 1 名

東病院 形成外科では、多くの施設・大学からレジデントを受け入れています。

再建外科領域の次世代リーダーの育成を目指しています。

臨床では、

1. 各種皮弁の挙上
2. マイクロサージャリー
3. 治療計画の立案、実行

を最終的には自分でできるようになることを目標としています。2 年間で 1 つの区切りとした教育スケジュールをたてています。



東病院 形成外科の PR ポイント

東病院 形成外科は、がんの切除により生じた形態・機能の再建を行うことで、がん患者の QOL の維持・向上に寄与することを目的に診療を行っています。当科の特徴はマイクロサージャリーを用いた遊離組織移植を中心とした手術を行っていることです。手術は遊離組織移植だけで年間 110 例以上を行っており、この分野では国内トップレベルの症例数となっています。

再建手術は頭頸部領域が中心で、摂食・会話などの機能温存を重視した再建を行っています。そのほか、乳腺外科、食道外科、大腸外科、泌尿器・後腹膜腫瘍科、呼吸器外科、肝胆膵外科など、さまざまな科との垣根の低い連携が特徴となっています。



教育体制

当科のレジデント教育の方針として、手術の基本から応用まで質の高い技術の習得を目指しています。

豊富な症例数をもとに、再建外科医として習得すべき多くの手術を経験することができ、効率的な研修が可能。また、毎週のカンファレンス、抄読会、NEXT 棟トレーニングルームでのマイクロサージャリーのトレーニングなど、レジデントの能力に合わせた指導を行うようにしています。



メッセージ

東病院 形成外科は向上心のある先生方を心からお待ちしています。ぜひ研修にいらしてください。

各プログラムの目的と特徴

レジデント3年コース・2年コース

対象者：採用時に医師免許取得後3年日以降の医師が対象。応募条件の詳細は研修課程を参照。

研修目標：

1. 再建を含む悪性腫瘍の治療に関する幅広い知識を習得する。
2. 頭頸部がんについて専門的知識を習得する。
3. 悪性腫瘍切除後の再建手術について、術前評価、術後管理を適切に行える。
4. マイクロサージャリーによる遊離組織移植の手術手技を習得する。
5. 機能的頭頸部再建術について理解し、その手術手技を習得する。
6. 悪性腫瘍切除後の再建について、基本的な再建治療の手術計画を立てられる。

研修内容：研修期間は3年または2年。がん診療や研究を幅広く経験できる3年コースを推奨。原則として3年コースの3年目には外来診療が可能。2年コースは臨床ローテート主体。

○3年コース

原則として24カ月間は形成外科で研修し、6～12カ月は頭頸部外科、乳腺外科、その他の外科などを、各自の希望に応じて選択してローテートする。頭頸部再建を含む各種のがんの再建症例について、主科とともに診療に当たり、がんの手術、化学療法、放射線治療、術前評価、術後管理を含むがん治療全体についての専門的知識を習得する。

各種皮弁の挙上について、段階的に研修し、基本に沿った質の高い手術手技を習得する。

マイクロサージャリーについて、段階的に研修し、基本に沿った質の高い手術手技を習得する。

基本的な皮弁の縫着法について、段階的に研修し、質の高い手術手技を習得する。

テーマを決めて研究をおこない、論文発表を行う。

○2年コース

原則として18カ月間は形成外科で研修し、6カ月は頭頸部外科、乳腺外科、その他の外科などを、各自の希望に応じて選択してローテートする。テーマを決めて研究をおこない、論文発表を行う。

研修の特色：おもに頭頸部再建、乳房再建について、段階的に研修を積み重ねることができ、皮弁挙上からマイクロサージャリー、基本的な皮弁の縫着まで幅広く習得できる。再建手術に関係するがん治療全体の専門的知識を習得できる。

がん専門修練医コース

対象者：国立がん研究センターのレジデント修了者、もしくは同等の能力を有する医師。応募条件の詳細は研修課程を参照。

研修目標：

1. 皮弁挙上からマイクロサージャリー、皮弁縫着、閉創まで安定した高度な手術手技を習得する。
2. さまざまな悪性腫瘍切除後の再建について、再建治療の手術計画を適切に立てられる。

研修内容：研修期間は2年。各種皮弁の挙上について、高度な質の高い手術手技を習得する。マイクロサージャリーについて、高度な質の高い手術手技を習得する。皮弁の縫着法について、高度な質の高い手術手技を習得する。外来診療が可能。原則として18カ月間は形成外科で研修し、6カ月は自由選択。テーマを決めて研究をおこない、論文発表を行う。

研修の特色：能力に応じて、さらに複雑で高度な再建手術について、術前計画から執刀、術後管理、術後評価に従事することで、より高いスキルの習得を目指す。専門的知識や手術手技について、さらに高いレベルでの研修を行う。

レジデント短期コース

対象者：卒後年限に上下限なし。応募条件の詳細は研修課程を参照。

研修内容：研修期間は原則3カ月以上1年まで。延長は相談の上決定。研修期間が短い研修内容は個別に相談して決定する。基本的に他科ローテートは行わない。ローテート希望者は要相談。

研修の特色：所属先の都合などで2年や3年の研修が不可能だが国立がん研究センター東病院で短期間でも研修したい医師のニーズに合わせた研修コース。

専攻医コース

対象者：基幹施設のプログラムで当院に派遣されてくる専攻医。採用時に医師免許取得後3年日以降の医師が対象です。応募条件の詳細は研修課程を参照。

研修内容：研修期間は3カ月から最長2年まで。研修内容および研修目標については基幹施設と相談の上決定する。

研修に関するお問い合わせ先

国立がん研究センター 東病院
形成外科

科長：
東野 琢也

メールアドレス：
takhigas@east.ncc.go.jp

東病院形成外科レジデントプログラム HP
https://www.ncc.go.jp/jp/nccce/clinic/plastic_surgery/resident/



Facebook 東病院 教育・研修情報
<https://ja-jp.facebook.com/nccceeducation/>

